

## 文化と歴史そして生態を重視したもう一つの草の根の農村開発に関する国際会議

開催日：2011年2月26日（土）、27日（日）

場所：京都府亀岡市保津町心凜愛荘

主催：保津町自治会、京都大学生存基盤科学研究ユニット、京都大学東南アジア研究所、  
京都学園大学

協力機関：プロジェクト保津川、亀岡市文化資料館

プログラム 2011年2月26日（土）

13:00-13:20 受付

13:20-13:30 開会の挨拶 塚田勇（保津町自治会）

13:30-14:00 基調講演：「くに(里)の連帯による新たな農村開発を」  
（安藤和雄 京都大学東南アジア研究所）

セッション I : 村の文化と生態資源を用いた農村開発に関する住民の活動  
座長：大西信弘（京都学園大学バイオ環境学部）

14:00-14:30 「『生きもの』共生で町おこし〜保津川すいたん農園プラン」  
（塚田勇 保津町自治会）

14:30-15:00 「竹炭を使ってカーボンマイナス〜クールベジタブル〜」  
（酒井省五 農事組合法人 ほづ）

15:00-15:15 休憩

15:15-15:45 「我が古里の課題〜Uターン者の視点から〜」（氏原学高知県大豊町）

16:15-16:45 「バングラデシュの村のNGOによる文化を中心とした農村開発の試み」  
（アッケル・アリ、モモタズ・ベゴム 共同農村開発協会(JRDS・バングラデシュ)）

16:45-17:30〜 総合討論 I

17:30-19:30〜 懇親会（心凜愛荘）

2011年2月27日（日）

9:00-12:00 エクスカーション（保津町自治会の取組見学）

12:00-13:00 昼食会（心凜愛荘）

セッション II : 大学、NPO（NGO）、地方行政他との協働による農村開発  
座長：中村均司（京都大学東南アジア研究所）

13:00-13:30 「周防大島自然体感クラブの活動と地域づくり〜“与えられる”地域づくりから  
“創り出す”地域づくりへ〜」（田中照敏 周防大島自然体感クラブ）

13:30-14:00 「地元大学は地域に何を貢献できるのか」  
（大西信弘 京都学園大学、バイオ環境学部）

- 14:00-14:30 「農村開発・発展における『よそ者』の役割～ 地域へ息吹を吹き込む風の人～」  
 (辰己佳寿子 山口大学エクステンションセンター)
- 14:30-15:00 「地域研究における地域・自治体・大学の協働と地域起こしへの可能性」  
 (鈴木玲治 京都大学生存基盤科学研究ユニット)
- 14:15-15:15 休憩
- 15:15-15:45 「ラオス国立大学農学部とタチャンパ村との協働～伝統文化保存をとおして～」  
 (矢嶋吉司 京都大学生存基盤科学研究ユニット)
- 15:45-16:15 「ラオスにおける魚道の重要性と農学部の試み」  
 (ウドム・ポーンカムペン、ラオス国立大学農学部)
- 16:15-16:45 「文化資料館と地域活性」(黒川孝宏 亀岡市文化資料館)
- 16:45-17:15 総合討論 II
- 17:15-17:25 閉会の辞 大西信弘 (京都学園大学バイオ環境学部)

\*バングラデシュ人 2 名、ラオス人 1 名が参加、それぞれに通訳をつけるので、日本語での講演となります。

会場へのアクセス亀岡市以外の方々：2 月 26 日 (土) 12:50 JR 亀岡駅改札前集合。北口 (田んぼの側) から出て、徒歩で 15 分。

問い合わせ：安藤和雄 [ando\(at\)cseas.kyoto-u.ac.jp](mailto:ando@cseas.kyoto-u.ac.jp) 下記：会場の案内図

